

令和7年度 杵束まちづくりセンターの主な取組

事業名

ペンギンやさかっ子夏まつり

P

●事業実施に至った背景、目的

子どもたちが、将来地域で活動するときの大きな自信となるよう、夏休み期間を利用して、児童クラブという学年を取り払った小さなコミュニティの中で、子どもたちが自主性をもって活動（食事作りなど）し、小さな成功体験を積み重ねる機会を作る。また、それをまとめる支援員さんに、子どもたちの経験が大事なことでと気付いてもらい、継続しようと思ってもらう。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

- ・「公民館等職員実践研修～事業を通した人づくり～」を活用してテーマ決め
- ・児童クラブ支援員さんに事業の趣旨説明及び関係者と打ち合わせ（7月～8月 5回）
- ・事業の実施（令和7年8月19日（火））

D

●事業の概要

- ・日 時 令和7年8月19日（火）10:00～14:00（準備・片付け含む）
- ・場 所 弥栄小学校 家庭科室・調理室
- ・主 催 者 やさか児童クラブ、杵束まちづくりセンター（共催）
- ・対 象 やさか児童クラブの児童
- ・参加人数 32人（児童26人、支援員3人、中学生1人、まちセン2人）
- ・目的・ねらい ・週に1度は、子どもたちが主体的に食事などを作り、お弁当のいない日を設け、子どものやる気、主体性を育む。

C

●事業実施後の振り返り

初めての企画だったが、子どもたち、支援員さんともに達成感を味わえたようだった。

（子どもたちの様子）

・皆が主体的に関わっていて、何もしない子はいなかった。

（支援員さんの感想）

- ・この企画の目的を達成することができた。
- ・今後もこのような活動をしていきたい。

A

●今後の方向性

・継続実施は、児童クラブからの動き出しを期待したい。

・OB、OGに手伝いの声がけをしてみる。

・軌道に乗れば、地域のお祭りへの出店などができると面白いと思う。

